

学校コード F105110101051

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科等連係課程実施基本組織の設置

注1

**事前伺い**

注2

秋田大学

大学院

先進ヘルスケア工学院 (M)

## 【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 秋田大学  
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局 (課) 名 理工学研究科

職名・氏名

ソウカツ シュサ ササキ シュウヘイ  
総括 主査・佐々木 周平

電話番号

018-889-2314

(夜間)

018-889-2314

e-mail

koso@jimu.akita-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

秋田大学大学院

＜先進ヘルスケア工学院（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

## (2) 大学名

秋田大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ヤマモト フミオ) 山本 文雄 (平成28年4月)		
工学院院长	(ミトベ カズタカ) 水戸部 一孝 (令和3年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)  
令和4年度に報告する内容 → (4)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
先進ヘルスケア工学院 修士（工学）	工学関係	2 年	10 人	年次 人	20 人	新規入学者を募集中	医学系研究科 理工学研究科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	10人 ( - ) [ 若干名 ]	人 ( - ) [ 若干名 ]	10人 ( - ) [ 若干名 ]	人 ( - ) [ 若干名 ]	0.75倍	-	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	10 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	10 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	10 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	5 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	10 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A							0.50		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	5 ( )	- ( )	10 ( )	- ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- ( )	- ( )	5 ( )	- ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	5 ( )	- ( )	15 ( )	- ( )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	5人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	15人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<先進ヘルスケア工学院 (M)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (医学系)	ヘルスケア工学概論	1①	1			4	1					3
	人体の構造と機能 I	1①	1			2						
	人体の構造と機能 II	1②	1			2						
	老年病学	1③	1			5	1	1				
	ヘルスケア・医療機器学	1①	1			1						
	ヘルスケア・医療情報学	1①	1			4	1		1			1
	医学実習	1休	1			2	4					
	保健学実習	1休	1			3		1				
	フィールドワーク	1休	1			4	5	2				
	機器ディベート	1~2通	1			21	12	5	2			
	医療倫理	1③	1									4
	高齢者センシング工学	1③	1			3	1					1
小計(12科目)	-	-	12	0	0	21	12	5	2	0	8	
専門科目 (工学系)	工学基礎 I	1①		1		2	2	1				
	工学基礎 II	1②		1		2	3	1				
	人間感覚情報工学 I	1③		1		1						
	人間感覚情報工学 II	1④		1		1						
	ヘルスケアVR学 I	2①		1		1						
	ヘルスケアVR学 II	2②		1		1						
	画像情報学 I	1③		1		1						
	画像情報学 II	1④		1		1						
	リモートセンシング工学 I	2①		1		1						
	リモートセンシング工学 II	2②		1		1						
	人間支援ソフトウェア工学 I	1①		1		1						
	人間支援ソフトウェア工学 II	1②		1		1						
	音と言葉の福祉情報学 I	1③		1				1				
	音と言葉の福祉情報学 II	1④		1				1				
	ヘルスケアデータ解析学	1①		1								1
	生体信号処理工学 I	1①		1			1					
	生体信号処理工学 II	1②		1			1					
	ヘルスケア運動センシング学	1①		1		1						
	臨床バイオメカニクス	1②		1		1						
	運動支援ロボティクス	1③		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学 I	1①		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学 II	1②		1		1						
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学 I	1①		1		1						
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学 II	1②		1		1						
	応用電気磁気学特論	1①		1			1					
	生体物性学論	1①		1			1					
	マイクロ加工学特論	1①		1			1					
	生体材料加工学論	1②		1			1					
	電子制御機械工学特論	1③		1				1				
	光・AI治療工学	1④		1				1				
	科学技術者倫理特論	1②	1									1
	インターンシップ I	1-2休		1		21	12	5	2			
	インターンシップ II	1-2休		2		21	12	5	2			
	先進ヘルスケア工学演習	2通	1			21	12	5	2			
	先進ヘルスケア工学課題研究	1~2通	8			21	12	5	2			
小計(35科目)	-	-	10	33	0	21	12	5	2	0	2	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (医学系)	ヘルスケア工学概論	1②	1			4	1					3
	人体の構造と機能 I	1①	1			1						1
	人体の構造と機能 II	1②	1			2						
	老年病学	1③	1			6	1	0				
	ヘルスケア・医療機器学	1①	1			1						
	ヘルスケア・医療情報学	1①	1			4	2		0			1
	医学実習	1休	1			4	2					
	保健学実習	1休	1			4						
	フィールドワーク	1休	1			4	5	2				
	機器ディベート	1~2通	1			22	11	3	1			
	医療倫理	1③	1									4
	高齢者センシング工学	1③	1			3	1					1
小計(12科目)	-	-	12	0	0	22	11	3	1	0	8	
専門科目 (工学系)	工学基礎 I	1①		1		2	2	1				
	工学基礎 II	1②		1		2	3	1				
	人間感覚情報工学 I	1③		1		1						
	人間感覚情報工学 II	1④		1		1						
	ヘルスケアVR学 I	2①		1		1						
	ヘルスケアVR学 II	2②		1		1						
	画像情報学 I	1③		1		1						
	画像情報学 II	1④		1		1						
	リモートセンシング工学 I	2①		1		1						
	リモートセンシング工学 II	2②		1		1						
	人間支援ソフトウェア工学 I	1①		1				1				
	人間支援ソフトウェア工学 II	1②		1				1				
	音と言葉の福祉情報学 I	1③		1					1			
	音と言葉の福祉情報学 II	1④		1					1			
	ヘルスケアデータ解析学	1①		1								1
	生体信号処理工学 I	1①		1			1					
	生体信号処理工学 II	1②		1			1					
	ヘルスケア運動センシング学	1①		1		1						
	臨床バイオメカニクス	1①		1		1						
	運動支援ロボティクス	1③		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学 I	1①		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学 II	1②		1		1						
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学 I	1①		1				1				
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学 II	1②		1				1				
	応用電気磁気学特論	1①		1			1					
	生体物性学論	1②		1			1					
	マイクロ加工学特論	1①		1			1					
	生体材料加工学論	1②		1			1					
	電子制御機械工学特論	1③		1					1			
	光・AI治療工学	1④		1					1			
	科学技術者倫理特論	1②	1									1
	インターンシップ I	1-2休		1		22	11	3	1			
	インターンシップ II	1-2休		2		22	11	3	1			
	先進ヘルスケア工学演習	2通	1			22	11	3	1			
	先進ヘルスケア工学課題研究	1~2通	8			22	11	3	1			
小計(35科目)	-	-	10	33	0	22	11	3	1	0	2	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
M O T 科 目	地域産業アントレプレナー論	1-2③		1							4
	マーケティングとブランディング	1-2①		1							1
	ベンチャー起業論	1-2休		1							1
	地域資源と活性化	1-2②		1							1
	リスクマネジメント	1-2休		1							1
	情報技術とイノベーション	1-2休		1							1
	財務・金融工学	1-2休		1							5
	知的財産論	1-2②		1							1
	経営戦略論	1-2休		1							1
	消費者行動と心理	1-2休		1							1
	特許情報活用論	1-2休		1							2
小計(11科目)	-	0	11	0						16	
合計(58科目)	-	22	44	0	0	0	0	0	0	26	
卒業要件及び履修方法											
専門科目のうち必修22単位、選択6単位以上を修得し、専門科目及びMOT科目から合計30単位以上修得すること。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
M O T 科 目	地域産業アントレプレナー論	1-2③		1							4
	マーケティングとブランディング	1-2①		1							1
	ベンチャー起業論	1-2休		1							1
	地域資源と活性化	1-2②		1							1
	リスクマネジメント	1-2休		1							1
	情報技術とイノベーション	1-2休		1							1
	財務・金融工学	1-2休		1							5
	知的財産論	1-2②		1							1
	経営戦略論	1-2休		1							1
	消費者行動と心理	1-2休		1							1
	特許情報活用論	1-2休		1							2
小計(11科目)	-	0	11	0						16	
合計(58科目)	-	22	44	0	0	0	0	0	0	26	
卒業要件及び履修方法											
専門科目のうち必修22単位、選択6単位以上を修得し、専門科目及びMOT科目から合計30単位以上修得すること。											



【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (医学系)	ヘルスケア工学概論	1休	1			4	1					3
	人体の構造と機能Ⅰ	1①	1			2						
	人体の構造と機能Ⅱ	1②	1			2						
	老年病学	1③	1			6	1	0				
	ヘルスケア・医療機器学	1①	1			1						
	ヘルスケア・医療情報学	1①	1			4	1		1			1
	医学実習	1休	1			2	4					
	保健学実習	1休	1			3		1				
	フィールドワーク	1休	1			4	5	2				
	機器ディベート	1~2通	1			22	12	4	2			
	医療倫理	1③	1									4
高齢者センシング工学	1③	1			3	1					1	
小計(12科目)	-		12	0	0	22	12	4	2	0	8	
専門科目 (工学系)	工学基礎Ⅰ	1①		1		2	2	1				
	工学基礎Ⅱ	1②		1		2	3	1				
	人間感覚情報工学Ⅰ	1③		1		1						
	人間感覚情報工学Ⅱ	1④		1		1						
	ヘルスケアVR学Ⅰ	2①		1		1						
	ヘルスケアVR学Ⅱ	2②		1		1						
	画像情報学Ⅰ	1③		1		1						
	画像情報学Ⅱ	1④		1		1						
	リモートセンシング工学Ⅰ	2①		1		1						
	リモートセンシング工学Ⅱ	2②		1		1						
	人間支援ソフトウェア工学Ⅰ	1①		1			1					
	人間支援ソフトウェア工学Ⅱ	1②		1			1					
	音と言葉の福祉情報学Ⅰ	1③		1				1				
	音と言葉の福祉情報学Ⅱ	1④		1				1				
	ヘルスケアデータ解析学	1①		1								1
	生体信号処理工学Ⅰ	1①		1			1					
	生体信号処理工学Ⅱ	1②		1			1					
	ヘルスケア運動センシング学	1②		1		1						
	臨床バイオメカニクス	1①		1		1						
	運動支援ロボティクス	1③		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学Ⅰ	1①		1		1						
	ヘルスケア・医療機器制御工学Ⅱ	1②		1		1						
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅰ	1①		1			1					
	ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅱ	1②		1			1					
	応用電気磁気学特論	1①		1			1					
	生体物性学論	1②		1			1					
	マイクロ加工学特論	1①		1			1					
	生体材料加工学論	1②		1			1					
	電子制御機械工学特論	1③		1				1				
	光・AI治療工学	1④		1				1				
	科学技術者倫理特論	1②	1									1
インターンシップⅠ	1・2休		1		22	12	4	2				
インターンシップⅡ	1・2休		2		22	12	4	2				
先進ヘルスケア工学演習	2通	1			22	12	4	2				
先進ヘルスケア工学課題研究	1~2通	8			22	12	4	2				
小計(35科目)	-		10	33	0	22	12	4	2	0	2	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
M O T 科 目	地域産業アントレプレナー論	1-2③		1								4
	マーケティングとブランディング	1-2①		1								1
	ベンチャー起業論	1-2休		1								1
	地域資源と活性化	1-2②		1								1
	リスクマネジメント	1-2休		1								1
	情報技術とイノベーション	1-2休		1								1
	財務・金融工学	1-2休		1								5
	知的財産論	1-2②		1								1
	経営戦略論	1-2休		1								1
	消費者行動と心理	1-2休		1								1
	特許情報活用論	1-2休		1								2
小計(11科目)	-	0	11	0							16	
合計(58科目)	-	22	44	0	0	0	0	0	0	0	26	
卒業要件及び履修方法												
専門科目のうち必修22単位、選択6単位以上を修得し、専門科目及びMOT科目から合計30単位以上修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

・就任予定専任教員退職の理由により、「先進ヘルスケア工学演習」, 「先進ヘルスケア工学課題研究」, 「機器ディベート」, 「インターンシップI」及び「インターンシップII」の専任教員の配置を「教授21, 准教授12, 講師5, 助教2」から「教授22, 准教授12, 講師4, 助教2」に変更。

・就任予定専任教員退職の理由により, 「老年病学」の専任教員の配置を「教授5, 准教授1, 講師1」から「教授6, 准教授1, 講師0」に変更。

・カリキュラム編成上の都合により, 「ヘルスケア工学概論」の配当年次を「1①」から「1休」に変更。

・カリキュラム編成上の都合により, 「ヘルスケア運動センシング学」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。

・カリキュラム編成上の都合により, 「臨床バイオメカニクス」の配当年次を「1②」から「1①」に変更。

・カリキュラム編成上の都合により, 「生体物性学論」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。

・届出記載修正のため, 「人間支援ソフトウェア工学I」「人間支援ソフトウェア工学II」, 「ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学I」及び「ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学II」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

**【令和4年度】**

・担当教員理事就任の理由により, 「人体の構造と機能I」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1, 兼任・兼任1」に変更。

・担当教員退職及び昇任の理由により, 「ヘルスケア・医療情報学」の専任教員の配置を「教授4, 准教授1, 助教1, 兼任・兼任1」から「教授4, 准教授2, 助教0, 兼任・兼任1」に変更。

・担当教員昇任の理由により「医学実習」の専任教員の配置を「教授2, 准教授4」から「教授4, 准教授2」に変更。

・担当教員昇任の理由により「保健学実習」の専任教員の配置を「教授3, 講師1」から「教授4, 講師0」に変更。

・カリキュラム編成上の都合により, 「ヘルスケア工学概論」の配当年次を「1休」から「1②」に変更。

・専任教員退職・昇任の理由により, 「先進ヘルスケア工学演習」, 「先進ヘルスケア工学課題研究」, 「機器ディベート」, 「インターンシップI」及び「インターンシップII」の専任教員の配置を「教授22, 准教授12, 講師4, 助教2」から「教授22, 准教授11, 講師3, 助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	43 科目	0 科目	58 科目	15 科目 [ 0 ]	43 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	58 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{58} = \boxed{\phantom{00}}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	258,144㎡	0㎡	0㎡	258,144㎡			
	運動場用地	76,253㎡	0㎡	0㎡	76,253㎡			
	小 計	334,397㎡	0㎡	0㎡	334,397㎡			
	そ の 他	104,031㎡	0㎡	0㎡	104,031㎡			
	合 計	438,428㎡	0㎡	0㎡	438,428㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	126,955㎡ ( 126,955 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	126,955㎡ ( 126,955 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	91室	131室	570室	12室 (補助職員 4人)	6室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	先進ヘルスケア工学院			40 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体  図書・設備の充実(4)	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種					電子ジャーナル [うち外国書]
	先進ヘルスケア工学院	559,396 [172,680] (548,202 [171,071]) (545,458 [170,695])	20,441 [10,222] (21,307 [14,914]) (20,425 [10,216])	7,250 [5,800] (7,996 [6,430]) (7,206 [5,786])	4,253 (4,053) (4,197)	( )		( )
	計	559,396 [172,680] (548,202 [171,071]) (545,458 [170,695])	20,441 [10,222] (21,307 [14,914]) (20,425 [10,216])	7,250 [5,800] (7,996 [6,430]) (7,206 [5,786])	4253 (4,053) (4,197)	( )		( )
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	6,321㎡		686	576,695				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	7,908		陸上競技場、野球場、多目的運動場、テニスコート、プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	秋 田 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
国際資源学部	4	120	-	480	-	1.04	1.00	-	平成26	秋田県秋田市手形学園町1番1号	平成26年度入学定員増(10人)
国際資源学科	4	120	-	480	学士(資源学)	1.04	1.00	-	平成26		
教育文化学部	4	210	-	840	-	1.02	1.04	-	-	秋田県秋田市手形学園町1番1号	令和4年度入学定員増(29人)
学校教育課程	4	110	-	440	学士(学校教育)	1.03	1.04	-	平成10		
地域文化学科	4	100	-	400	学士(地域文化)	1.03	1.05	-	平成26		
医学部	-	230	-	1,221	-	1.00	1.01	令和4	-	秋田県秋田市本道一丁目1番1号	
医学科	6	124	2年次5	769	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和45		
保健学科	4	106	3年次14	452	学士(保健学) 学士(看護学)	1.00	1.02	-	平成14		
理工学部	4	395	3年次12	1,604	-	1.03	1.03	-	平成26	秋田県秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45	-	180	学士(理学)	1.04	1.02	-	平成26		
物質科学科	4	110	-	440	学士(理工学)	1.01	1.02	-	平成26		
数理・電気電子情報学科	4	120	-	480	学士(理学)	1.04	1.02	-	平成26		
システムデザイン工学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.04	1.05	-	平成26		
各学科共通			3年次12	24							
大学全体	-	955	31	4,145	-	-	1.02	-	-	-	



大学の名称	秋田大学大学院					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
大学院国際資源学研究科 (博士前期課程)	-	50	-	110	-	-	1.10	-	平成28	秋田県秋田市手形学園町1番1号
資源地球科学専攻	2	40	-	80	-	1.12	1.10	-	平成28	
資源開発環境学専攻	2	17	-	34	修士 (資源学)	1.17	1.00	-	平成28	
資源開発環境学専攻	2	23	-	46	修士 (理学)	1.08	1.17	-	平成28	
資源開発環境学専攻	2	23	-	46	修士 (資源学)	1.08	1.17	-	平成28	
資源開発環境学専攻	2	23	-	46	修士 (工学)	1.08	1.17	-	平成28	
(博士後期課程)	3	10	-	30	-	1.30	1.10	-	平成28	
資源学専攻	3	10	-	30	博士 (資源学)	1.30	1.10	-	平成28	
資源学専攻	3	10	-	30	博士 (理学)	1.30	1.10	-	平成28	
資源学専攻	3	10	-	30	博士 (工学)	1.30	1.10	-	平成28	
大学院教育学研究科 (修士課程)	2	26	-	52	-	0.82	0.84	-	平成28	秋田県秋田市手形学園町1番1号
心理教育実践専攻	2	6	-	12	-	1.08	1.16	-	平成28	
心理教育実践専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.08	1.16	-	平成28	
(専門職学位課程)	2	20	-	40	-	0.75	0.75	-	平成28	
教職実践専攻	2	20	-	40	教育修士 (専門職)	0.75	0.75	-	平成28	
大学院医学系研究科 (修士課程)	-	50	-	163	-	-	1.06	-	-	秋田県秋田市本道一丁目1番1号
医科学専攻	2	5	-	10	-	0.40	0.40	-	平成19	
医科学専攻	2	5	-	10	修士 (医科学)	0.40	0.40	-	平成19	
先進ヘルスケア工学院	2	3	-	6	-	0.00	0.00	-	令和3	
(博士前期課程)	2	12	-	24	-	1.12	1.25	-	平成19	
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (看護学)	1.12	1.25	-	平成19	
保健学専攻	2	12	-	24	修士 (リハビリテーション科学)	1.12	1.25	-	平成19	
(博士後期課程)	3	3	-	9	-	1.10	1.33	-	平成21	
保健学専攻	3	3	-	9	博士 (保健学)	1.10	1.33	-	平成21	
(博士課程)	4	30	-	120	-	1.11	1.06	-	平成19	
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.11	1.06	-	平成19	

※医科学専攻の内数

大学の名称	秋田大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学生員超過率1.3倍以上の学科数	3	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学生員超過率	令和4年度入学生員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
大学院理工学研究科	-	160	-	330	-	-	1.42	-	平成28	秋田県秋田市手形学園町1番1号		
(博士前期課程)	2	150	-	300	-	1.25	1.45	-	平成28			
生命科学専攻	2	15	-	30	修士(理学)	1.59	1.46	-	平成28			
物質科学専攻	2	40	-	82	修士(理工学)	1.08	1.27	令和4	平成28		令和4年度入学生員減(2人)	
数理・電気電子情報学専攻	2	45	-	90	修士(理学)	1.28	1.44	-	平成28			
システムデザイン工学専攻	2	32	-	68	修士(工学)	1.29	1.59	令和4	平成28		令和4年度入学生員減(4人)	
先進ヘルスケア工學院	2	7	-	14	-	1.06	1.42	-	令和3		※システムデザイン工学専攻の内数	
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	2	12	-	12	修士(工学)	0.75	-	-	平成28		令和4年度より学生募集停止	
共同サステナブル工学専攻	2	18	-	18	修士(工学)	1.61	1.61	-	令和4			
(博士後期課程)	3	10	-	30	-	0.93	1.00	-	平成28			
総合理工学専攻	3	10	-	30	博士(医学)	0.93	1.00	-	平成28			
大学院先進ヘルスケア工學院	2	10	-	20	-	0.75	1.00	-	令和3		秋田県秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)	2	10	-	20	-	0.75	1.00	-	令和3			※医科学専攻及び大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻の内数
先進ヘルスケア工學院	2	10	-	20	修士(工学)	0.75	1.00	-	令和3			
大学院工学資源学研究科	3	-	-	-	-	-	-	-	平成14	秋田県秋田市手形学園町1番1号		
(博士後期課程)	3	-	-	-	-	-	-	-	平成14			
電気電子情報システム工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-	-	平成14		平成28年度より学生募集停止	
大学院全体	-	286	-	655	-	-	1.25	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学生員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学生員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学生員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学生員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学生員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学生員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<先進ヘルスケア工学院 (M) >

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾野 恭一 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	板東 良雄 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	八月朔日 泰和 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	石井 聡 ( ) <令和3年4月> 医学博士 理学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	柴田 浩行 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	中山 勝敏 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	橋本 学 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	尾野 恭一 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	板東 良雄 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	八月朔日 泰和 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	石井 聡 ( ) <令和3年4月> 医学博士 理学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	柴田 浩行 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	中山 勝敏 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	橋本 学 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	理事	尾野 恭一 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	板東 良雄 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅰ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	八月朔日 泰和 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	石井 聡 ( ) <令和3年4月> 医学博士 理学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 人体の構造と機能Ⅱ※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	柴田 浩行 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	中山 勝敏 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	若狭 正彦 ( ) <令和3年4月> 障害科学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	伊藤 登茂子 ( ) <令和3年4月> 教育学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	新山 喜嗣 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	大田 秀隆 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	長縄 明大 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ ヘルスケア・医療機器学 フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 II※ ヘルスケア・医療機器制御工学 I ヘルスケア・医療機器制御工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	若狭 正彦 ( ) <令和3年4月> 障害科学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	伊藤 登茂子 ( ) <令和3年4月> 教育学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	新山 喜嗣 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	大田 秀隆 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	清水 宏明 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	長縄 明大 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ ヘルスケア・医療機器学 フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 II※ ヘルスケア・医療機器制御工学 I ヘルスケア・医療機器制御工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	若狭 正彦 ( ) <令和3年4月> 障害科学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	伊藤 登茂子 ( ) <令和3年4月> 教育学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	大田 秀隆 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	清水 宏明 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	長縄 明大 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ ヘルスケア・医療機器学 フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 II※ ヘルスケア・医療機器制御工学 I ヘルスケア・医療機器制御工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水戸部 一孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎I※ 人間感覚情報工学I 人間感覚情報工学II ヘルスケアVR学I ヘルスケアVR学II インターンシップI インターンシップII
専	教授	巖見 武裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎II※ ヘルスケア運動センシング学 臨床バイオメカニクス 運動支援ロボティクス インターンシップI インターンシップII
専	教授	景山 陽一 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎I※ 画像情報学I 画像情報学II リモートセンシング工学I リモートセンシング工学II インターンシップI インターンシップII
専	准教授	宮腰 尚久 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	福田 雅幸 ( ) ＜令和3年4月＞ 歯学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	南條 博 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水戸部 一孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎I※ 人間感覚情報工学I 人間感覚情報工学II ヘルスケアVR学I ヘルスケアVR学II インターンシップI インターンシップII
専	教授	巖見 武裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎II※ ヘルスケア運動センシング学 臨床バイオメカニクス 運動支援ロボティクス インターンシップI インターンシップII
専	教授	景山 陽一 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎I※ 画像情報学I 画像情報学II リモートセンシング工学I リモートセンシング工学II インターンシップI インターンシップII
専	准教授	宮腰 尚久 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	福田 雅幸 ( ) ＜令和3年4月＞ 歯学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	南條 博 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水戸部 一孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎I※ 人間感覚情報工学I 人間感覚情報工学II ヘルスケアVR学I ヘルスケアVR学II インターンシップI インターンシップII
専	教授	巖見 武裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎II※ ヘルスケア運動センシング学 臨床バイオメカニクス 運動支援ロボティクス インターンシップI インターンシップII
専	教授	景山 陽一 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎I※ 画像情報学I 画像情報学II リモートセンシング工学I リモートセンシング工学II インターンシップI インターンシップII
専	教授	宮腰 尚久 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	福田 雅幸 ( ) ＜令和3年4月＞ 歯学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップI インターンシップII
専	准教授	南條 博 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップI インターンシップII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今井 一博 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	植木 重治 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	藤田 浩樹 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	松永 俊樹 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	藤原 克哉 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎 I ※ 人間支援ソフトウェア工学 I 人間支援ソフトウェア工学 II インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	田中 元志 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 I ※ 生体信号処理工学 I 生体信号処理工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今井 一博 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	植木 重治 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	藤田 浩樹 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	松永 俊樹 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	藤原 克哉 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎 I ※ 人間支援ソフトウェア工学 I 人間支援ソフトウェア工学 II インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	田中 元志 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 I ※ 生体信号処理工学 I 生体信号処理工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	今井 一博 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	教授	植木 重治 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 医学実習※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	藤田 浩樹 ( ) <令和3年4月> 医学博士 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップ I インターンシップ II
専		
専	准教授	藤原 克哉 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎 I ※ 人間支援ソフトウェア工学 I 人間支援ソフトウェア工学 II インターンシップ I インターンシップ II
専	准教授	田中 元志 ( ) <令和3年4月> 博士(工学) 先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア工学概論※ フィールドワーク 機器ディベート 高齢者センシング工学※ 工学基礎 I ※ 生体信号処理工学 I 生体信号処理工学 II インターンシップ I インターンシップ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 芳宏 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅰ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	山本 良之 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 応用電気磁気学特論 生体物性学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	高橋 護 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ マイクロ加工工学概論 生体材料加工学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	中瀬 泰然 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 老年病学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	高橋 和孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	久米 裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 保健学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 芳宏 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅰ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	山本 良之 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 応用電気磁気学特論 生体物性学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	高橋 護 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ マイクロ加工工学概論 生体材料加工学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	高橋 和孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	久米 裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 保健学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 芳宏 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅰ ヘルスケア・福祉機器アクチュエータ工学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	山本 良之 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(理学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 応用電気磁気学特論 生体物性学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	高橋 護 ( ) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ マイクロ加工工学概論 生体材料加工学論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	高橋 和孝 ( ) ＜令和3年4月＞ 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	教授	久米 裕 ( ) ＜令和3年4月＞ 保健学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 保健学実習※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	関 健史 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 電子制御機械工学特論 光・AI治療工学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	中島 佐和子 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅰ※ 音と言葉の福祉情報学Ⅰ 音と言葉の福祉情報学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	助教	大佐賀 敦 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	助教	高階 淳子 ( ) <令和3年4月> 保健学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	山田 武千代 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		医療倫理※
兼任	教授	有川 正俊 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケアデータ解析学
兼任	准教授	伊藤 慎一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		地域産業アントレプレナー論※ マーケティングとブランディング 知的財産論
兼任	准教授	臼木 智昭 ( ) <令和3年4月> 博士(政策研究)
		地域産業アントレプレナー論※ 地域資源と活性化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	関 健史 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 電子制御機械工学特論 光・AI治療工学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	中島 佐和子 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅰ※ 音と言葉の福祉情報学Ⅰ 音と言葉の福祉情報学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	助教	大佐賀 敦 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	助教	高階 淳子 ( ) <令和3年4月> 保健学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	山田 武千代 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		医療倫理※
兼任	教授	有川 正俊 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケアデータ解析学
兼任	准教授	伊藤 慎一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		地域産業アントレプレナー論※ マーケティングとブランディング 知的財産論
兼任	准教授	臼木 智昭 ( ) <令和3年4月> 博士(政策研究)
		地域産業アントレプレナー論※ 地域資源と活性化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	関 健史 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅱ※ 電子制御機械工学特論 光・AI治療工学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	講師	中島 佐和子 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 フィールドワーク 機器ディベート 工学基礎Ⅰ※ 音と言葉の福祉情報学Ⅰ 音と言葉の福祉情報学Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	准教授	大佐賀 敦 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 ヘルスケア・医療情報学※ 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
専	助教	高階 淳子 ( ) <令和3年4月> 保健学修士
		先進ヘルスケア工学演習 先進ヘルスケア工学課題研究 機器ディベート インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	山田 武千代 ( ) <令和3年4月> 医学博士
		医療倫理※
兼任	教授	有川 正俊 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケアデータ解析学
兼任	准教授	伊藤 慎一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		地域産業アントレプレナー論※ マーケティングとブランディング 知的財産論
兼任	准教授	臼木 智昭 ( ) <令和3年4月> 博士(政策研究)
		地域産業アントレプレナー論※ 地域資源と活性化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	西島 和俊 ( ) <令和3年4月> 獣医学博士
		医療倫理※
兼任	講師	吉沢 文武 ( ) <令和3年4月> 博士(文学)
		科学技術者倫理特論
兼任	講師	刈屋 佑美 ( ) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療倫理※
兼任	特任助教	高橋 朗人 ( ) <令和3年4月> 修士(工学)
		医療倫理※
兼任	講師	渡辺 慶朋 ( ) <令和3年4月> 工学修士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	赤上 陽一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	若淵 拓也 ( ) <令和3年4月> 材料科学修士 医学博士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	今井 祐之 ( ) <令和3年4月> 商学学士
		地域産業アントレプレナー論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	関 信輔 ( ) <令和3年4月> 農学博士
		医療倫理※
兼任	講師	吉沢 文武 ( ) <令和3年4月> 博士(文学)
		科学技術者倫理特論
兼任	講師	刈屋 佑美 ( ) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療倫理※
兼任	特任助教	高橋 朗人 ( ) <令和3年4月> 修士(工学)
		医療倫理※
兼任	講師	渡辺 慶朋 ( ) <令和3年4月> 工学修士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	赤上 陽一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	若淵 拓也 ( ) <令和3年4月> 材料科学修士 医学博士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	今井 祐之 ( ) <令和3年4月> 商学学士
		地域産業アントレプレナー論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	関 信輔 ( ) <令和3年4月> 農学博士
		医療倫理※
兼任	講師	刈屋 佑美 ( ) <令和3年4月> 博士(医学)
		医療倫理※
兼任	特任助教	高橋 朗人 ( ) <令和3年4月> 修士(工学)
		医療倫理※
兼任	講師	渡辺 慶朋 ( ) <令和3年4月> 工学修士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	赤上 陽一 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	若淵 拓也 ( ) <令和3年4月> 材料科学修士 医学博士
		ヘルスケア工学概論※
兼任	講師	今井 祐之 ( ) <令和3年4月> 商学学士
		地域産業アントレプレナー論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	眞田 慎 ( ) ＜令和3年4月＞ 経営学学士
		地域産業アントレプレナー論※
兼任	講師	佐藤 善友 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(工学)
		ベンチャー起業論
兼任	講師	戸根谷 法雄 ( ) ＜令和3年4月＞ 地域社会マネジメント学修士
		リスクマネジメント
兼任	講師	清水 剛 ( ) ＜令和3年4月＞ 工学士
		情報技術とイノベーション
兼任	講師	戸賀瀬 康弘 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(商学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	種藤 誠也 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(文学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	相原 学 ( ) ＜令和3年4月＞ 経済学学士
		財務・金融工学※
兼任	講師	池田 誠 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(教育学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	宮腰 知士 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(理学・工学)
		財務・金融工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	眞田 慎 ( ) ＜令和3年4月＞ 経営学学士
		地域産業アントレプレナー論※
兼任	講師	佐藤 善友 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(工学)
		ベンチャー起業論
兼任	講師	戸根谷 法雄 ( ) ＜令和3年4月＞ 地域社会マネジメント学修士
		リスクマネジメント
兼任	講師	清水 剛 ( ) ＜令和3年4月＞ 工学士
		情報技術とイノベーション
兼任	講師	戸賀瀬 康弘 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(商学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	
兼任	講師	相原 学 ( ) ＜令和3年4月＞ 経済学学士
		財務・金融工学※
兼任	講師	
兼任	講師	宮腰 知士 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(理学・工学)
		財務・金融工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	眞田 慎 ( ) ＜令和3年4月＞ 経営学学士
		地域産業アントレプレナー論※
兼任	講師	佐藤 善友 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(工学)
		ベンチャー起業論
兼任	講師	
兼任	講師	戸賀瀬 康弘 ( ) ＜令和3年4月＞ 学士(商学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	
兼任	講師	相原 学 ( ) ＜令和3年4月＞ 経済学学士
		財務・金融工学※
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	朴 元熙 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		経営戦略論
兼任	講師	佐藤 飛鳥 ( ) <令和3年4月> 博士(経済学)
		消費者行動と心理
兼任	講師	齋藤 昭彦 ( ) <令和3年4月> 修士(理学)
		特許情報活用論
兼任	講師	齋藤 博子 ( ) <令和3年4月> 修士(農学)
		特許情報活用論
兼任	講師	山本 一茂 ( ) <令和3年4月> 経営管理修士 (専門職)
		ヘルスケア・医療情報学※ 高齢者センシング工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	朴 元熙 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		経営戦略論
兼任	講師	佐藤 飛鳥 ( ) <令和3年4月> 博士(経済学)
		消費者行動と心理
兼任	講師	齋藤 昭彦 ( ) <令和3年4月> 修士(理学)
		特許情報活用論
兼任	講師	齋藤 博子 ( ) <令和3年4月> 修士(農学)
		特許情報活用論
兼任	講師	山本 一茂 ( ) <令和3年4月> 経営管理修士 (専門職)
		ヘルスケア・医療情報学※ 高齢者センシング工学※
兼任	講師	早山 幸佑 ( ) <令和3年4月> 学士(商学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	高橋 茉凡 ( ) <令和3年4月> 学士(情報学)
		財務・金融工学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	朴 元熙 ( ) <令和3年4月> 博士(工学)
		経営戦略論
兼任	講師	齋藤 昭彦 ( ) <令和3年4月> 修士(理学)
		特許情報活用論
兼任	講師	齋藤 博子 ( ) <令和3年4月> 修士(農学)
		特許情報活用論
兼任	講師	山本 一茂 ( ) <令和3年4月> 経営管理修士 (専門職)
		ヘルスケア・医療情報学※ 高齢者センシング工学※
兼任	講師	早山 幸佑 ( ) <令和3年4月> 学士(商学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	高橋 茉凡 ( ) <令和3年4月> 学士(情報学)
		財務・金融工学※
兼任	講師	中村 雅英 ( ) <令和4年4月> 博士(工学)
		科学技術者倫理特論
兼任	講師	津村 守 ( ) <令和4年4月> 工学修士
		リスクマネジメント

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高柳 浩 ( ) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報技術とイノベーション
兼任	講師	加登屋 努 ( ) <令和3年10月> 経済学学士
		財務・金融工学※
兼任	講師	嶋崎 真仁 ( ) <令和4年4月> 博士(工学)
		消費者行動と心理

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

・令和2年12月31日付け退職（一身上）により、中瀬泰然講師就任辞退。担当科目である「先進ヘルスケア工学演習」、「先進ヘルスケア工学課題研究」、「老年病学※」、「機器ディベート」、「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」については、清水宏明教授に変更。「教員審査省略」 ・兼任教員の西島和俊准教授辞退。担当科目である「医療倫理」については、関信輔准教授に変更。 ・兼任教員の種藤誠也講師と池田誠講師辞退。担当科目である「財務・金融工学」については、早山幸佑講師と高椅茉凡講師に変更。
---

【令和4年度】

・兼任教員の吉沢文武講師辞退。担当科目である「科学技術者倫理特論」については、中村雅英講師に変更。 ・兼任教員の戸根谷法雄講師が年齢制限により更新不可。担当科目である「リスクマネジメント」については、津村守講師に変更。 ・兼任教員の清水剛講師辞退。担当科目である「情報技術とイノベーション」については、高柳浩講師に変更。 （申請時及び令和3年度AC時に科目名が「情報技術イノベーション」となっていたので修正。正しくは「情報技術とイノベーション」である。） ・兼任教員の宮腰知士講師が令和3年度途中で異動に伴い講師変更を希望。担当科目である「財務・金融工学」については、加登屋努講師に変更。 ・兼任教員の佐藤飛鳥講師辞退。担当科目である「消費者行動と心理」については、嶋崎真仁講師に変更。 ・専任教員の松永俊樹准教授辞退。担当科目である「先進ヘルスケア工学演習」、「先進ヘルスケア工学課題研究」、「機器ディベート」、「インターンシップⅠ」、「インターンシップⅡ」については、すべて他の分担当教員が分担。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
21	12	5	2	40	0	22	11	3	1	37	0
(22)	(12)	(4)	(2)	(40)	0						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
35	5	0				32	5	0			
(35)	(5)	0				(32)	(5)	0			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
22	11	3	1	37	0	22	11	3	1	37	0
(1)	(Δ1)	(Δ2)	(Δ1)	(Δ3)	0	(1)	(Δ1)	(Δ2)	(Δ1)	(Δ3)	0
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
32	5	0				32	5	0			
[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]				[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{37}{40} = \boxed{92.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{37} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	中瀬 泰然	R2.12	必修	先進ヘルスケア工学演習	①	R2.12.31付けで退職（一身上）したため辞退（3）						
				必修	先進ヘルスケア工学課題研究	①							
				必修	老年病学	①							
				必修	機器ディベート	①							
				選択	インターンシップI	①							
				選択	インターンシップII	①							
合計（D）			後任補充状況の集計（E）										
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	尾野 恭一	R4.3	必修	先進ヘルスケア工学演習	②	R4.3.31付け退職（R4.4.1理事就任）のため（4）						
				必修	先進ヘルスケア工学課題研究	②							
				必修	人体の構造と機能I	②							
				必修	機器ディベート	②							
				選択	インターンシップI	②							
				選択	インターンシップII	②							
2	准教授	松永 俊樹	R4.3	必修	先進ヘルスケア工学演習	③	R4.3.31付け退職（一身上）のため（4）						
				必修	先進ヘルスケア工学課題研究	③							
				必修	機器ディベート	③							
				選択	インターンシップI	③							
				選択	インターンシップII	③							
				合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
2	人	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	4	科目	必修	3	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	0	科目	計	6	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）										
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
3	人	必修	11	科目	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	3	科目
		選択	6	科目	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	6	科目	計	6	科目	計	5	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{40} = 7.5\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。



(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	橋本 学	必修	先進ヘルスケア工学演習	①	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)			
			必修	先進ヘルスケア工学課題研究	①				
			必修	ヘルスケア・医療情報学	①				
			必修	機器ディベート	①				
			選択	インターンシップⅠ	①				
			選択	インターンシップⅡ	①				
2	教授	新山 喜嗣	必修	先進ヘルスケア工学演習	③	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)			
			必修	先進ヘルスケア工学課題研究	③				
			必修	機器ディベート	③				
			選択	インターンシップⅠ	③				
			選択	インターンシップⅡ	③				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	7 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	3 科目
		選択	4 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	11 科目	計	6 科目	計	0 科目	計	5 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

中瀬泰然講師の辞任について、担当科目である「先進ヘルスケア工学演習」、「先進ヘルスケア工学課題研究」、「老年病学※」、「機器ディベート」、「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」については、令和3年4月より清水宏明教授が担当することとなった。学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行っている。よって、専任教員交代による学生への影響に関して問題は無いと考える。

尾野恭一教授の退職については、理事就任のため退職後は兼任教員として引き続き授業を継続して担当するため学生への影響は問題無いと考える。

橋本学教授の退職について、担当科目は後任の石山公一准教授が担当する。学生に対しては履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行っている。よって、専任教員交代による学生への影響に関して問題は無いと考える。

新山喜嗣教授及び松永俊樹准教授の退職については、担当科目は主担当科目がなく、すべて分担科目のため他の分担者で担当することとなった。学生に対しては履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な周知を行っている。よって、専任教員交代による学生への影響に関して問題は無いと考える。

また、上記退職者はいずれも研究指導を担当する学生がいないため、この点に関しても影響なしと考える。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和2年)	<p>・ディプロマポリシーに掲げる「先進的な医療・ヘルスケアの機器やソフトウェアを開発する」について、具体的にどのような教育を実施するのか、カリキュラムポリシーと絡めて説明することが望ましい。 (助言事項)</p> <p>・アドミッション・ポリシーについて、学生等のステークホルダーから適切な理解が得られるよう引き続き検証していくことが望ましい。 (助言事項)</p>	<p>・ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーについて、ガイダンス、履修案内への記載やweb機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a-net」へ掲載することにより、十分な説明を行っている。</p> <p>・アドミッション・ポリシーについて、ステークホルダーから適切な理解が得られるようにHPや募集要項を通じて説明を行っている。</p>	履行中	引き続き十分な説明を行っていくと伴に、その内容の検証や更新を随時行う。
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	特になし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <先進ヘルスケア工学院 (M) >

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

##### 秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育改善委員会(以下「委員会」という。)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部適用する。

附 則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻ファカルティ・ディベロプメント委員会内規

(設置)

第1条 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻の教員の教育に関する資質の向上に関する事項を検討・実施するため、保健学専攻にファカルティ・ディベロプメント委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教員の教育能力を高めるため、授業内容・方法の改善・向上に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は、博士前期課程又は博士後期課程の講義を担当する教員のうちから、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 保健学専攻・保健学科総務委員会(以下「総務委員会」という。)委員の看護学講座教員のうち、看護学講座から推薦された教員1名
- (2) 前号を除く看護学講座から推薦された教員1名
- (3) 総務委員会委員の理学療法学講座又は作業療法学講座教員のうち、両講座で協議の上推薦された教員1名
- (4) 理学療法学講座又は作業療法学講座のうち、前号の委員が所属する講座以外の講座から推薦された教員1名

(任期)

第4条 前条の委員の任期は、1年以内とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前条の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聞くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、医学系研究科・医学部総務課において処理する。

(補則)

第8条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成27年4月1日から実施する。

附 則(平成29年3月16日一部改正)

この内規は、平成29年4月1日から実施する。

附 則(令和元年10月16日一部改正)

この内規は、令和元年10月16日から施行する。

附 則(令和2年3月23日一部改正)

この内規は、令和2年4月1日から実施する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

理工学研究科・・・2回開催(令和3年度実績)・参加率平均100%

医学系研究科・・・9回開催(令和3年度実績)・参加率平均92%

※各協力連携科記載

c 委員会の審議事項等

理工学研究科・・・上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

医学系研究科・・・上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

a 実施内容

FD活動

b 実施方法

理工学研究科

- ①大学院進学率向上のための生命科学コースにおける取り組み

- ②保護者対応について
- ③ハラスメント防止のためにおさえておきたいこと

医学系研究科

- ①保健学専攻FD「カリキュラム評価の基本と実践」
- ②保健学専攻国際交流センターFD  
「タイ王国における発達障害領域のリハビリテーション タイ・エレファントアシスト・セラピーの応用」
- ③医学部FD「Artificial Intelligence (AI) : 基礎概念および医学への応用」
- ④ICT(感染制御)研修会「標準予防策—Standard Precaution—」
- ⑤ICT(感染制御)研修会「職業感染防止のために」
- ⑥ICT(感染制御)研修会「抗菌薬適正使用2021(1) ここで血培を！」
- ⑦ICT(感染制御)研修会「抗菌薬適正使用2021(2) タイムアウト 方針再検討のすすめ」
- ⑧ICT(感染制御)研修会「新型コロナウイルス感染症対策のポイント」
- ⑨ICT(感染制御)研修会「PA研修」

c 開催状況(教員の参加状況含む)

理工学研究科

- ①令和3年6月17日(木) 参加者: 約100名(zoom)
- ②令和3年11月18日(木) 参加者: 約100名(zoom)
- ③令和4年1月20日(木) 参加者: 約110名(zoom)

医学系研究科

- ①令和3年12月17日(金) 参加者: 42名(zoom+オンデマンド配信)
- ②令和3年9月9日(木) 参加者: 26名(zoom)
- ③令和3年11月29日(月) 参加者: 80名(zoom)
- ④参加者: 1,258名(動画視聴)
- ⑤参加者: 1,259名(動画視聴)
- ⑥参加者: 1,313名(動画視聴)
- ⑦参加者: 1,302名(動画視聴)
- ⑧参加者: 930名(動画視聴)
- ⑨令和3年12月15日(水), 17日(金): 51名(対面)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、次年度以降の授業や学生サポートの改善に向けて取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有(予定) 開講されている科目(講義)の最終週(予定)

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付予定。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する予定。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねる予定。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 開設年度の状況は、順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的達成に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 令和3年度以降</p> <p>b 公表方法 先進ヘルスケア工学院のホームページから各種の情報を発信することとしている。 大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 令和2年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受けた。現在は次回（令和8年度予定）の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。</p>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ]</p> <p>≪ a で「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <u>公表後2～3ヶ月以内</u> ・ 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <u>ウェブサイトへの掲載</u> ・ その他 ( ) ]</p> <p>≪ a で公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。